

2学期は、全校生徒199名一人一人が主役となり、体育大会や学習発表会等の学校行事を盛り上げたり、挨拶運動や不動滝清掃ボランティアなどの生徒会活動を活発に展開したりしてくれました。加えて、「ありがとう」や「大丈夫?」といった、受け取る側からすると心が和まされる言葉かけや笑顔での対応が、さらに増えてきているように感じています。

学校力を確実に向上してくれていることに、心から感謝します。

こうした成長のみられた2学期でしたが、私が今学期望んでいた「いかなる状況においても自分で考え、判断し、行動すること」つまり「主体性」については、いかがでしたか? 悩んだ末の決断が、微妙に終わることもあったのではないかと思います。でも、後悔することはありません。その時の迷いや選択が、将来のより適切な決断に生かせるからです。

これからも「主体性」を追い求めて行きましょう。

さて、令和時代最初の冬休みに入ります。これをしよう、あれがしたいと、思い描くこともあるかと思えます。ここで、私からのお願いごとがあります。それは、スマホやパソコン、snsやゲーム、テレビ視聴から離れる時間を、できる限り多くもって欲しいということです。こうした空間に身を置くことは、楽しく、居心地がよいため、あっという間に時間が過ぎていきやすいものです。しかし、私が心配するところは、将来仕事について働く上で、人とのつながりをより良く保つことは欠かせないのに、人や自然との対話や触れ合いの機会がどんどん削られ、人間関係の作り方が分からなくなるのではという点なのです。

ラインなどのメールでのやりとりは手元ででき、簡単に済ませられます。しかし、相手の感情の起伏さまでは読みづらく、時には誤解を招いてしまい、信頼を損なってしまうこともあります。やはり面と向かい合って、表情、呼吸、しぐさ、話しぶり、息づかい、態度などから、相手の気持ちをより推し量ることができるのであり、この体験を数多く行うことで、使いものとなる会話力、つまりコミュニケーション力が高められていくのです。

この冬は是非、宿題の解けない問題に徹底的に食い下がってみるなど、学習、家の手伝い、読書、スポーツの時間を増やしながら、スマホやゲーム以

外での付き合い方を工夫して、これまでとは異なった楽しみを見つけ出し、人間性の幅を広げて欲しいと思います。

むすびに、校舎や学校のモノを大切に扱えた学期でしたか。1学期の終わりに工事完了の感謝式を行いました。工事関係者の方々への感謝の気持ちはずっと忘れないようにしましょう。また、3年生の皆さん。希望を叶える上で、冬休みは最後のチャンスと言っても過言ではないと思います。ここを乗り越えることで、春に大きな花が咲きます。受験勉強、とことん頑張ってください。

全校生徒の皆さん。事故やケガに十分気を付け、新年には心を新たにして、素敵な冬休みを過ごしてください。

よいお年をお迎え下さい。